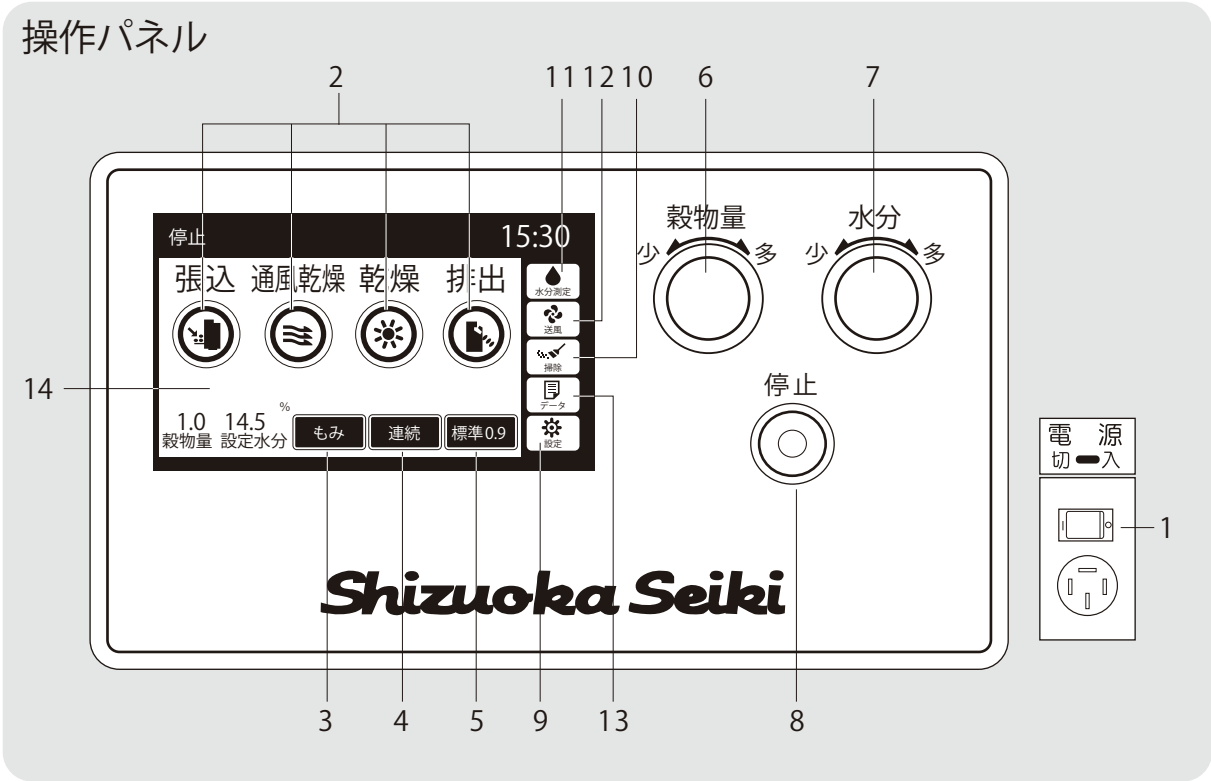


4.1.コントロールボックスの操作パネル

コントロールボックスの操作パネルの各スイッチ、表示器などについて説明します。



1.電源スイッチ

コントロールボックスの操作用電源スイッチです。(右側面にあります。)

2.運転ボタン

張込、通風乾燥、乾燥、排出の各作業時に押します。
運転ボタンにより表のモーターが回転します。

運 転	搬送	排塵	循環	送風	水分計	排出スロー
張 込	○	○	▲	△	○	×
通風乾燥		○	○	○△	○	×
乾 燥	○	○	○	◎	○	×
排 出	○	○	○	×	△	□

◎インバーター制御（遠赤型機）、○：運転、×：停止
▲：間欠運転、△：停止選択可（手動）、□：オプション

張込中は、循環モーターが間欠運転します。

3.穀物選択ボタン :4.2.1項参照

穀物の種類(もみ、もち米、酒米、小麦、大麦、ビール麦)を選びます。

4.運転方法選択ボタン :4.2.2項参照

連続・二段乾燥・タイマー・休止予約の各乾燥運転を選びます。

5.乾燥方法選択ボタン :4.2.3項参照

標準・食味種子・手動・静かの各乾燥方法を選びます。

6.穀物量ツマミ

張込まれた穀物量(窓の数字)に合わせます。熱風温度が自動設定されます。
☆もみの標準乾燥では、同時に送風機の回転数も制御して、省エネ乾燥をします。

7.水分ツマミ

希望する仕上り水分値を、10.5～33%の範囲で設定できます。
10.5～17.0は0.1%、17.0%～33%は0.5%きざみです。
OFF表示は水分計を使用しません。

8.停止ボタン

乾燥機の運転を停止するスイッチです。
乾燥運転中(通風乾燥以外)に停止ボタンを押すと、送風機を運転し、バーナーを冷却した後に停止します。

9.設定ボタン

時刻、運転動作、水分計などを設定する画面を表示します。

10.掃除ボタン

バルブ下側の残留穀物を排出するボタンです。

注 意

機械の中に穀物が入っている時は絶対に操作しないでください。

排出運転中に押すと、逆にバルブのみ停止します。

11.水分計ボタン

現在の穀物水分を測定します。排出中、停止中のみ可能です。

12.送風ボタン

下記の3つの使い方ができます。
①送風機だけ運転したい時
②張込中に送風機を停止したい時
③通風乾燥中に送風を停止したい時

13.データボタン :4.4項参照

乾燥データと乾燥終了時の水分分布(8乾燥)や異常履歴、稼働時間を表示します。
また、メンテナンスの履歴を記録表示することができます。

14.液晶モニター(以下モニター)

停止中は、運転ボタンや選択ボタンを表示。運転中には温度と水分値、終了予定時刻、水分分布などを各運転に合わせて繰返し表示します。異常が発生した場合、異常コード(エラーコード)を表示します。乾燥運転以外の時は、周囲(外気)温度を表示します。

(標準画面)

	運転ボタン	周囲温度	熱風温度	水分値	終了予定時刻	水分分布	異常コード
停止	○	×	×	△(手動)	×	△(手動)	—
張込	×	○	×	○	×	○	—
通風乾燥	×	×	○	○	×	○	—
乾燥	×	×	○	○	○	○	—
排出	×	○	×	△(手動)	×	△(手動)	—
異常	運転モードによる						○

○：表示 ×表示しない